

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対

署名(オンライン&署名用紙)

推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2021/8/11

No. 2

賛同署名は

* オンライン8/10まで

2,595

人

* 署名用紙 8/5まで

888

筆

みやぎ生協・コープふくしまは
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水
(冷却水などの汚染水)の海洋放出に反対です。
反対署名運動へのご協力をお願いします

この署名運動は、主にオンライン署名での参加を呼びかけています。

以下アクセスで直接 署名サイトへアクセスできます。

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>



スマホはこちらから

●元福島大学学長・元コープふくしま理事長で現福島大学名誉教授の今野順夫先生にお聞きしました。
今野先生は2011年の東日本大震災からの福島の復興を考え各界の専門家や関係者から様々な課題や現状を聞き復興の在り方を考える「ふくしま復興支援フォーラム」を主催しこれまで184回を開催されています。

●インタビュー / 福島大学名誉教授 今野順夫先生に聞きました /

Q. ALPS処理水海洋放出決定の発表を受け、どのように感じたか

A. 考え抜いた結論が提示されると思っていたが疑問を解消するものではなかった。
試験操業、検査を繰り返し懸命に努力してきた漁業関係者無念な顔が浮かんだ。
行政に充分声が届いていないのは残念だが、署名運動の緊急性を感じた。



Q. ALPS処理水海洋放出の問題点、論点はどこか

A. 代替案もいくつか出されてきたが、果たしてそれを真剣に検討したのだろうか。事故原発のトリチウム水には通常のトリチウム水に含まれない放射性物質が含まれている。他の原子力施設のトリチウム水とは違うもので同一には論ぜられない。事故原発で海洋放出している原発はない。他の原発でも流しているという説明は当てはまらない。

Q. 生協としてできることは何か

A. 生協はこれまで暮らしを守るために議論の場を広げ運動を展開し、社会を動かしてきた。身近にできる署名運動、便利なオンライン署名を広げてをもらいたい

★応援メッセージ

風評被害は過去のことでない。海洋放出は福島の漁業にとって大きな打撃。放出されれば水産業のみならず、産業全体に関わる。県民の生活・健康を守るためにも海洋放出に反対し、署名運動を広めていく必要がある。民主主義は国民の意思に基づいており、特定の課題で一致した意見を訴えることができるのが署名。憲法11条に「基本的人権の享有」侵すことのできない永久の権利として、現在および将来の国民に与えられる明記されている。子供たち、孫たち、未来の主人公にどんな社会、環境を引き継ぐのか。負の遺産をこれ以上増やさないためにも頑張りましょう。

■応援いただいています■ 今野 先生の特設サイトで

今野順夫 福島大学名誉教授(元 福島大学学長・元コープふくしま理事長)から「賛同協力呼びかけ人」の募集が呼びかけられています。

~~~~

”アルプス処理水の海洋放出反対署名に協力しましょう”

アルプス処理水海洋放出に反対する署名が、みやぎ生活協同組合・コープふくしま、宮城県漁業協同組合、宮城県生活協同組合連合会、福島県生活協同組合連合会の4団体をよびかけ団体として、すすめられています。(オンライン署名数 1884 / 2021.7.16 23:00)

この署名運動は、内閣総理大臣、経済産業大臣、東京電力ホールディングス株式会社代表者の三者宛てに、以下の要請事項を求めるものです。

「一 東京電力福島第一原子力発電所のトリチウム等を含むアルプス処理水は海洋放出を行わず、関係者、国民の理解が得られる別の方法で処理すること。」

この署名運動を、上記4団体に任せず、協力する輪を広げることが大事と思い、協力を呼びかけるものです。

◇<協力呼びかけ人を募集しています。>

協力呼びかけに賛同していただける方は、  
tkonno67@gmail.com (今野)まで御連絡をお願いします。

<協力呼びかけ賛同者> (50音順) 45名 (8/9現在)

- ・朝田良作(島根大学名誉教授)・飯考行(専修大学教授)・五十嵐仁(法政大学名誉教授)
- ・磯野弥生(東京経済大学名誉教授)・伊藤昌太(福島大学名誉教授)
- ・伊東達也(浜通り医療生協前理事長)・伊藤宏之(福島大学名誉教授)・大島堅一(龍谷大学教授)
- ・大宮勇雄(福島大学名誉教授)・小澤和枝(コープふくしま元理事)・大久長範(元宮城大学教授)
- ・菊池紘(弁護士、生業訴訟弁護団共同代表)・久保木亮介(弁護士、生業弁護団)・倉持恵(弁護士)
- ・古賀秀昭(東北工業大学名誉教授)・今野順夫(福島大学名誉教授)・佐々木健洋(福島県農林連事務局長)
- ・佐藤政男(福島医大元教員)・佐藤康雄(原発災害情報センター理事長)・杉本朗(弁護士)・鈴木静(愛媛大学教授)
- ・鈴木浩(福島大学名誉教授)・鈴木雅貴(弁護士)・関根未希(弁護士)・高瀬雅男(福島大学名誉教授)
- ・千葉悦子(福島大学名誉教授)・中井勝己(福島大学名誉教授)・中野直樹(弁護士、生業弁護団)
- ・南雲芳夫(弁護士、生業訴訟弁護団幹事長)・西沢桂子(弁護士)・根本敬(福島県農林連会長)
- ・晴山一穂(福島大学名誉教授)・平田公子(福島大学名誉教授)・広田次男(弁護士)・福田邦夫(明治大学名誉教授)
- ・藤松素子(佛教大学教授)・真木寛彦(福島大学名誉教授)・松井克浩(新潟大学教授)・松野光伸(福島大学名誉教授)
- ・馬奈木巖太郎(弁護士、「生業を返せ、地域を返せ!」福島原発訴訟弁護団事務局長)・丸山重威(日本ジャーナリスト会議、元院大学教授、元共同通信社)・森田道雄(福島大学名誉教授)・山川充夫(福島大学名誉教授)・吉田正志(東北大学名誉教授)
- ・吉原泰助(福島大学名誉教授)



<編集後記>erikoのつぶやき

『ヒロシマの有る国で』という歌を知っていますか?  
福島県出身のアーティスト、山本さとしさん作詞作曲の楽曲です。サビの部分で繰り返し歌われる「ヒロシマの有る国でしなければならぬこととはとるいくさの火種を消すことだろう」というフレーズ。  
大なり小なりそこかしこに転がっている争いの芽。  
平和な社会をまずは自分のまわりから…平和も自由も当たり前ではないことを嘯みしめ、日々穏やかに過ごせることに今日も感謝です。

<情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内  
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局  
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F  
TEL.024-557-1181 FAX557-5359 \* mail :sn.10243sn@todock.coop

